

令和6年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和7年6月20日

情報公開条例

部	教育委員会生涯学習部	課	文化財課
---	------------	---	------

施設名・所在地	函館市縄文文化交流センター 函館市臼尻町551番地1				
設置条例	函館市縄文文化交流センター条例				
指定管理者名	一般財団法人 道南歴史文化振興財団	指定期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで		
指定管理者の特別な要件	1 考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員を3名以上確保し、常時1名以上配置。うち、1名以上は文化庁が主催する指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー修了者または同等の知識等を有すると教育委員会が認める者 2 学芸業務を統括する管理責任者は「考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員」から選任すること			選定区分	公募 非公募
設置目的	縄文文化を通じた交流の場の創出および縄文文化の最新の研究成果を通して歴史的意義・重要性を国内外へ情報発信することにより、観光客や研究者等の集客を促し、交流人口の拡大を図り、もって地域振興に寄与することを目的とする。				
設置年月	平成23年10月		建設費	633,867千円	
構造規模等	敷地 総面積：7,140.93㎡ 建物 構造：鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積：1,733.43㎡				
開館時間 休館日等	開館時間 4月1日から10月31日まで 午前9時から午後5時まで 11月1日から3月31日まで 午前9時から午後4時30分まで 休館日 ・月曜日（休日の場合は最も近い平日）・12月29日～1月3日・毎月最終金曜日				
料金体系	☐ 利用料金制の採用の有無 無 一般 個人：300円 20人以上の団体：1人につき240円 学生・生徒・児童 個人：150円 20人以上の団体：1人につき120円				
1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況					
(1) 管理業務					
ア 受付、案内および監視業務					
イ 体験講座、体験学習 縄文体験講座 「縄文染め」「縄文釣り体験」「縄文土器づくり体験」「縄文世界遺産クイズラリー」ほか 縄文ペンダントづくり、組紐アクセサリづくり					
ウ 縄文文化特別研究 研究テーマ 「道南部および北東北における緑色岩製磨製石斧の製作技術と流通について」					
エ 展示・環境管理業務					
オ 企画展 「函館空港発掘50年史」 開催					
カ レファレンス業務					
キ 北海道博物館協会に関する業務、道の駅の管理に関する業務					
ク 資料の保管、借受け、利用許可、指定文化財(国・道および市)の取扱いに関する業務					
ケ 施設の維持管理に関する業務（清掃、警備、設備保守点検、塵芥処理、除雪、修繕等）					
コ その他センターの維持管理に関し必要と認められる業務（物品等の調達、光熱水費等の支払等）					
サ 教育委員会または指定管理者が必要と認める業務（公金収納、危機管理、広報等）					
(2) 委託業務					
ア 函館市縄文文化交流センター使用料収納事務委託					
イ 史跡大船遺跡・史跡垣ノ島遺跡管理運営業務委託					
(3) 自主事業					
ア 縄文文化の普及・啓発					
イ 他団体と連携したイベント実施 史跡大船遺跡清掃活動、シーニックの日花苗植栽活動、シーニックdeナイト2025					
ウ ミュージアムグッズ販売					
エ 道の駅売店運営					
オ 他団体との商品開発					
2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績					
ア 市政はこだて、ホームページ、SNS等による広報活動					
イ 「はこだて縄文まつり in 垣ノ島」の開催 「中空土偶をだっこしてみよう」					

3 市民ニーズの把握の実施状況

ア アンケートボックスの設置（通年）

選択式による交通手段や展示の満足度等のほか、自由記述による意見・要望の記載欄を設け、適宜対応している。

令和6年度回答数：825件

イ 窓口対応（通年）

4 施設の利用状況

・令和6年度の月別入館者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	2,165	3,803	3,489	3,598	5,224	3,930	3,494	2,204	614	596	470	1,207	30,794

・年度別利用件数

(単位：人、円)		← 前期指定期間 →			← 当期指定期間 →		
年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用件数		20,402	18,307	29,838	36,936	31,551	30,794
使用料収入		4,702,950	3,499,350	6,386,760	8,324,550	7,258,020	7,026,420

※平成28年度から指定管理者制度導入

5 指定管理者の収支状況

(単位:円)		← 前期指定期間 →			← 当期指定期間 →		
区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	委託料	46,773,000	46,773,000	51,177,000	50,541,000	48,457,000	48,457,000
	利用料金						
	事業収入	729,200	335,100	374,250	365,200	367,900	446,550
	雑入	0	0	0	0	0	0
	計	47,502,200	47,108,100	51,551,250	50,906,200	48,824,900	48,903,550
支出	人件費	21,494,998	21,889,257	24,850,574	24,133,021	23,871,108	24,393,966
	消耗品費	1,894,361	2,187,668	1,865,442	1,865,249	2,182,191	1,741,480
	印刷製本費	51,267	419,939	862,774	333,397	78,016	442,756
	修繕費	417,440	722,550	457,500	318,700	470,500	0
	水道光熱費	4,882,027	4,757,305	4,974,574	5,923,995	4,986,831	5,400,606
	通信費	422,688	422,353	441,786	435,054	450,055	437,806
	業務委託費	9,102,263	9,386,124	9,314,253	9,764,105	10,014,227	9,670,782
	リース料	1,025,493	1,015,843	2,063,077	2,115,212	1,825,765	1,936,261
	租税公課	3,918,931	4,282,552	4,686,479	4,627,836	4,438,626	4,445,775
	原材料費	0	0	0	0	0	0
	その他の支出	1,119,074	1,201,318	365,001	1,349,620	485,736	128,383
	計	44,328,542	46,284,909	49,881,460	50,866,189	48,803,055	48,597,815
当該施設の利用者一人当たり税金投入コスト		2,062	2,364	1,501	1,143	1,306	1,345

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 (有) ・ 無

ア 管理業務実績報告書、事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 実地調査（随時）

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	仕様書に基づき、縄文文化交流センターの適切な管理運営に努めた。	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録から3年が経過し、世界遺産の効果が徐々に薄れてきたと感じています。そのため、縄文文化交流センターや垣ノ島遺跡、大船遺跡への来場者数が前年度に比べ減少している状況です。一方で、日本の観光地はインバウンド観光客で賑わいを見せており、特に函館には多くのクルーズ船が寄港してきます。これにより、国内外からの観光客の増加が期待されています。この貴重な文化遺産を活かし、両遺跡と連携を深めながら、来訪者が縄文文化の価値を理解し、体感できるような施設運営を目指してまいります。
サービスの 質の状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	来館者の要望等を常に従業員が共有し、入館案内・解説・講座等を工夫し、各種業務のサービス向上に努めた。	利用者からのご意見や要望を全員で情報共有し、今後のサービスの質の向上に努めてきました。また、ホームページやX（旧ツイッター）など多様な媒体を活用し、体験学習や体験講座の開催告知、イベント情報の発信にも力を入れています。さらに、定期的に利用者の声を収集し、ニーズに応じたサービスの提供とさらなる向上を目指していきたい。
団体の経営 状況	☒ A ☐ B ☐ C	特に問題なし。	現在、物価上昇が続く中、施設運営に必要な経費や体験学習、体験講座の材料費が増加することが懸念されています。このような状況を踏まえ、今後とも収支状況を的確に把握し、利用者がより楽しめるサービスを提供できるよう、安定した運営に努めていきたい。

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	管理業務処理要領に基づき適切な管理運営および事業が行われている。	令和4年度より入館者数が減少しているが、これは「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されて3年が経過したことに加え、五稜郭や函館山を舞台としたアニメ映画のヒットにより他の観光施設に来訪者が集中したためと考えられる。引き続き課題の整理を行い、必要な対応を進めること。
サービスの 質の状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	アンケートの実施やホームページ・SNSを活用した情報提供など、安定したサービスの質が保たれている。	より一層のサービスの質の向上を図るため、定期的に展示解説や接遇に関する研修を実施し、スタッフ間の情報と対応方法の共有等に取り組むよう努めること。
団体の経営 状況	☒ A ☐ B ☐ C	団体の経営状況に問題はない。	引き続き安定した団体運営に努めること。

◎「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書を遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。